

令和2年度 浜竹保育園事業計画

1. 概要

①運営方針

- 大田区は2020年度、保育施設を新たに9園の開設が予定され、認可保育園が合計で177園となります。これに伴い保育士確保が益々厳しくなっています。退職者補充や育児休業補充に向けた採用活動も困難を極めています。産休職員・育児休業職員と続く中でのシフト体制の工夫と補充要員として早急な人材確保に向けた取り組みが必要です。現場が疲弊しない働き方を検討します。
- 令和2年は、第三者評価を5年ぶりに受審します。評価機関はまだ決まっていますが、評価項目内容について前回とは変わっているため、早い段階から全職員で共通理解を進めながら保育内容や事務処理など計画的に見直し準備を進めます。
- 「保育所保育指針改定」の10項目と3つの視点の捉え方について園内研修を引き続き行い、保育実践と振り返りを小グループで積極的に討議し質向上につなげます。
- 大田区の災害時対応を基本に浜竹保育園としての危機管理マニュアル（災害対応）を再検討します。また、大田区応急保育所として、職員全体で個々の役割や受け入れについて確認し図上のシミュレーションをします。

②定員 140名（大田区との協定によります。）
（30年度より前期・後期に分け各1名予約制導入）

③事業日数 310日（12月29日～1月3日までは大田区の規定により休園します。）

④開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分
休日 (令和2年度は、1月・2月・3月のみ実施予定)
8時30分から17時30分

⑤保育時間 (月曜日～土曜日)
早朝保育 7時15分から 8時30分
通常保育 8時30分から18時15分
延長保育 18時15分から20時15分

⑥職員数 園長1名、主任1名、副主任1名、保育士名21名（要支援児対応分2名含む）
看護師1名、栄養士1名、調理員4名（うち1名育休、代替え調理補助員2名）、
保育補助員1名（朝夕専任）
非常勤保育士3名（うち1名延長保育専任）
パート（早朝保育補助員）2名、
嘱託医（大田区の指定による）内科医1名、歯科医1名

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 十分に養護の行き届いた環境の下、子ども達が主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え自己を十分発揮し人として『生きる力』をはぐくむ。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。
- 保育所職員の専門性を活用し、在園児及び地域の子育て支援を行う。

③保育目標

「共に遊び 共に育ち合い 学びに向かう子」

1. 友達と一緒に遊び、楽しみながら様々な体験を重ねる中で、考えたり工夫したり、協力したりしながら主体的に行動する力を身につける子ども
2. 互いの思いや考えを共有したり、自分と異なる考えに気付いたりしながら学びに向き合い、互いに育ち合える子

④クラス編成及び職員配置

0歳児	かめ組	17名	保育士6名（採用次第1名増やします）
1歳児	かに組	21名	保育士4名（非常勤1名）
2歳児	ぺんぎん組	24名	保育士4名（保育補助員1名）
3歳児	いるか組	26名	保育士3名（要支援児付、非常勤1名）
4歳児	とびうお組	26名	保育士2名（要支援児要員、非常勤1名）
5歳児	くじら組	26名	保育士2名

（園児定員 140名）（保育士 21名）

主任保育士	1名
副主任保育士	1名
非常勤保育士	3名（非常勤保育士 有資格）
早朝保育補助	2名（パートタイマー）
延長保育補助	1名（パートタイマー）

⑤保育内容

- 2019年度の大田区指導検査結果報告書や第三者評価項目に基づき、保育計画立案や記録物の書き方の見直しと修正をします。また子どもの主体性を大切にした保育実践や乳児クラスの少人数保育で丁寧な関わりや個々が満足して遊べる環境作りを継続的に評価しあい質向上を図りま

す。

- 2020 年は日々の手洗いやうがい、「早寝、早起き、朝ごはん」等、看護師や栄養士によるの食育及び健康教育の充実を図ります。
- 栄養士と調理師による食育についてそれぞれの連携や協力による積極的な取り組みを評価しながら、計画的に活動します。
- 1 歳児クラスより就寝時間の遅い子や外遊びの少ない子が多くなっています。また、全体に体幹の弱さや身体の硬い児が目立ちます。一人ひとりの体や動きの特性をクラスで把握するとともにじゃれつき遊びや朝の運動遊びの中に柔軟体操を意識的に取り入れ評価していきます。
- 「オリンピック・パラリンピック」開催年、子ども達にも情報を提供し運動や人権また世界への関心を広げていきます。
- 個別保育を必要とする支援児が増えていますが、クラスとして統合保育による子ども達の成長も見られます。対象児への思いやりや自然な手助けなど関わる姿が多くなっています。また、近隣の老人施設との交流も継続し更に子ども達の人権に対する尊重の意識を高めていけるよう保育活動を進めます。
- 大田区では、春秋の定期健康診断の前に保育士や看護師が「発達記録表」をチェックすることになりました。個々の発達チェックはクラス担任と看護師で共通理解をしたうえで園医に伝え、健診時助言を頂き、保護者対応や個々の支援に役立てます。

⑥家庭との連携

- 保護者の価値観や子育てに対する意識がますます多様化しています。親の生活を優先した生活リズムとなり子どもの生活も夜型の家庭が多くなっています。またゲームやスマホなども乳児期から与えている家庭が増えていきます。保護者会やお便りを通して子どもの健全な生活「早寝早起き 朝ごはん」「戸外遊び」などをテーマに一緒に考えたり啓発していきます。
- 食育活動や行事などの写真トピックスの他、各年齢、日々の生活の姿も定期的にドキュメンテーションで伝え子育てに関心を広げてもらえるよう工夫します。

⑦人材育成

- 大田区監査資料及び第三評価項目と内容について全職員で勉強会を進め共通理解を図ると共に、保育の計画や保育実践などの記録の取り方を見直していきます。
- 園内研修により主体的に参加出来るようアンケートを反映させテーマを決めました。個々の保育実践事例を持ち寄り、少人数のグループで継続的、また積極的に自分の考えや思いを議論し、個々の保育を評価見直し組織として保育力を高めます。
- 精神疾患の保護者や支援家庭など対応が難しいケースが増えていきます。引き続き事例検討や外部講師の助言を受けながら個々の家庭や保護者にあった対応に努めます。
- 「オリンピック・パラリンピック」東京開催年、「人権及び障害者差別解消法」について更に全職員で理解を深め、各年齢の人権教育として保育計画及び実践に反映させます。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

- 地域子育て支援事業「はまっこクラブ」の中に離乳食講習会と行事も組み入れ、保育園に足を運んでいただく機会を広げていきます。
- 新たにスタートした「子ども地域会議」への参加により災害訓練や避難訓練の連携につなげたいと思います。他園の「煙体験・起震車体験」に参加させていただきます。また、子育て支援連絡会（年2回）や地域関係者会議（年2回）に参加し情報共有に努めます。
- 近隣の老人施設との交流は引き続き計画的に実施します。施設利用者の方の要望を伺い内容の充実を図ります。

保幼小中との連携事業

- 東糀谷保育園との交流はじめ近隣学校（萩中小学校・糀谷中学・出雲中学）との交流についても継続します。保育士も主体性と積極性をもって事前打ち合わせを行い活動内容の充実を図ります。
- 地域の中学校3校（糀谷中学校・いずも中学校・羽田中学校）の体験学習やボランティアを引き続き受け入れます。

⑨苦情処理

- 保護者様の意見や要望は、職員に周知すると共に解決に向けリーダー会または、全職員で速やかに検討・改善し、概ね24時間以内に全保護者に向けての回答掲示や文章報告をします。また、個別対応につきましても園長・主任が速やかに対応します。

⑩リスクマネジメント

- 災害時の応急保育についてリーダーを中心に検討し役割や具体的な動きなどをリーダーで話し合い、全員で詳細について共通理解を進め図上でシミュレーションをします。また、食事の提供についても栄養士・調理員で作成したマニュアルについてみんなで器具の扱い方や調理方法などについて学びます。
- 引き続き、蒲田消防署での救急救命資格取得の他、園に来て頂き全員がAED講習を受け緊急時対応に備えます。アレルギー児も多くなり今まで以上に危機意識を強く持ち緊急時の対応を迅速にできるよう看護師による応急処置法及び救急救命を計画的継続的に実施します。
- 災害メールの配信について新入園児保護者に説明し希望者の加入手続きを行うとともに、卒園児や退園、転園児の削除を確実にを行います。
大田区のアレルギー対応の方法が変わり「食物アレルギー、他アトピー性皮膚炎・鼻炎などの疾患」についてフローチャートに基づき園内の対応と保護者対応やを全員で勉強会を進め事故のないよう取り組みます。
- ヒヤリーハット及び日々の事故報告を継続し、発生時間や状況の分析を期毎に行い、クラスごと環境の見直しや保育の進め方など検討し怪我軽減に繋がります。

⑫その他

- ・パソコンの調子が悪く、また、メンテナンスも終了となりましたので2台買い替えが必要です。
- ・幼児クラスのコットベッドが古くなり破損や傷みがひどくなっていますので、2020年度は4歳クラスのコットをマットに買い替えます。
- ・2019年度より幼児保育室の床を順次張替えています。2020年度は4歳児保育室床改修予定です。